

毎年約100の方が亡くなっている 「着衣着火」にご用心！



Q. 着衣着火ってなに？



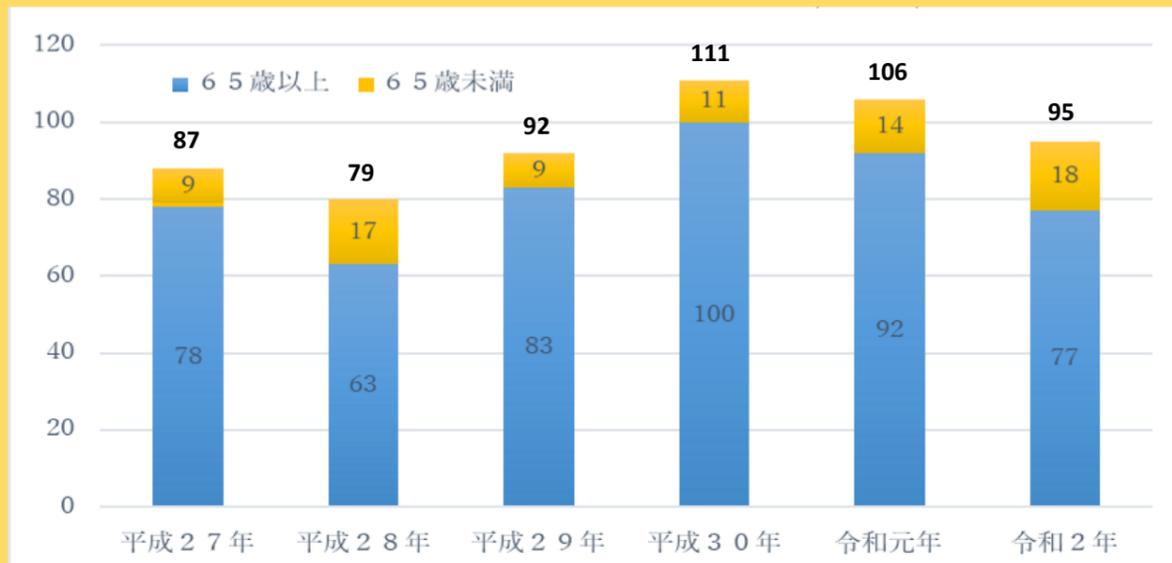
着衣着火とは、調理中のガステーブルの火が袖口に燃え移るなど、何らかの火が着ている服に着火した火災のことです。



Q. どのくらい発生しているの？



平成27年から令和2年の5年間で572名の方が亡くなっています。そのうちの約8割は、65歳以上の高齢者です。



着衣着火による死者数（年別）

Q. どんな事例があるの？



★こんろ・ガステーブル編

1. こんろの奥または上にある調味料を取ろうとして、衣服の袖に着火。
2. 料理中にこんろに背を向けてテレビを見ていたところ背中に着火。



★ろうそく編

1. 仏壇の供え物を替えようとしたところろうそくの火が衣服に着火。
2. 換気のため窓を開放し仏壇のろうそくの火が風でなびいて仏壇に着火。



★消毒用アルコール編

1. 手指消毒をした直後にこんろを操作し、こんろの火が手から腕に着火。



着衣着火を防ぐために



★キッチン周りを整理しましょう!!

- ・コンロの奥にはものを置かないようにしましょう。
- ・頻繁に使うものは上ではなく下に収納しましょう。



★火を扱う際は服装に注意しましょう!!

- ・マフラー等は外し、裾や袖が広がった服は避けましょう。
- ・綿、レーヨンなど毛羽立ちの多い服は避けましょう。

★表面フラッシュ現象

直接火に触れなくても生地表面の毛羽から着火し、瞬時に被服全体に火が回る現象。



- ・防災品(火に触れても着火しにくい製品)を使用しましょう。

★防災品の例



防炎マーク
防炎品である目印



防炎エプロン



防炎アームカバー

★消毒用アルコールを火気の近くで使用しない!!

- ・手指消毒の後は少し時間をおいてから火気を扱きましょう。

着衣着火が発生したら



★対処法

- ・近くに水がある場合は、水をかけて消火しましょう。
- ・衣服を素早く脱げる場合は、衣類を脱ぎ捨て、脱いだ衣服に水をかけて消火しましょう。
- ・水がない場合は、燃えているところを地面に押し付ける様にして倒れこみ、転がって消火しましょう(SDR)。

★ S D R (Stop Drop and Roll)



※燃えている部分を地面にこすりつけることで窒息消火をします!

★NG行動

✗ 手ではたく

手ではたいても火は消えません!
はたいている手も火傷をする恐れがあります!

✗ 走り回る

走ると風により炎の勢が増します!
立位でいると顔へ炎が上がってくるため危険です!

最後に 消火をした後は119番に通報し火傷をしている場合はその旨も伝えてください!

問合せ先
荏原消防署
警防課防災安全係 地域防災担当
電話 03-3786-0119 内線 323